

原子力市民委員会（CCNE）連続オンライン企画
「原発ゼロ社会への道」第4回

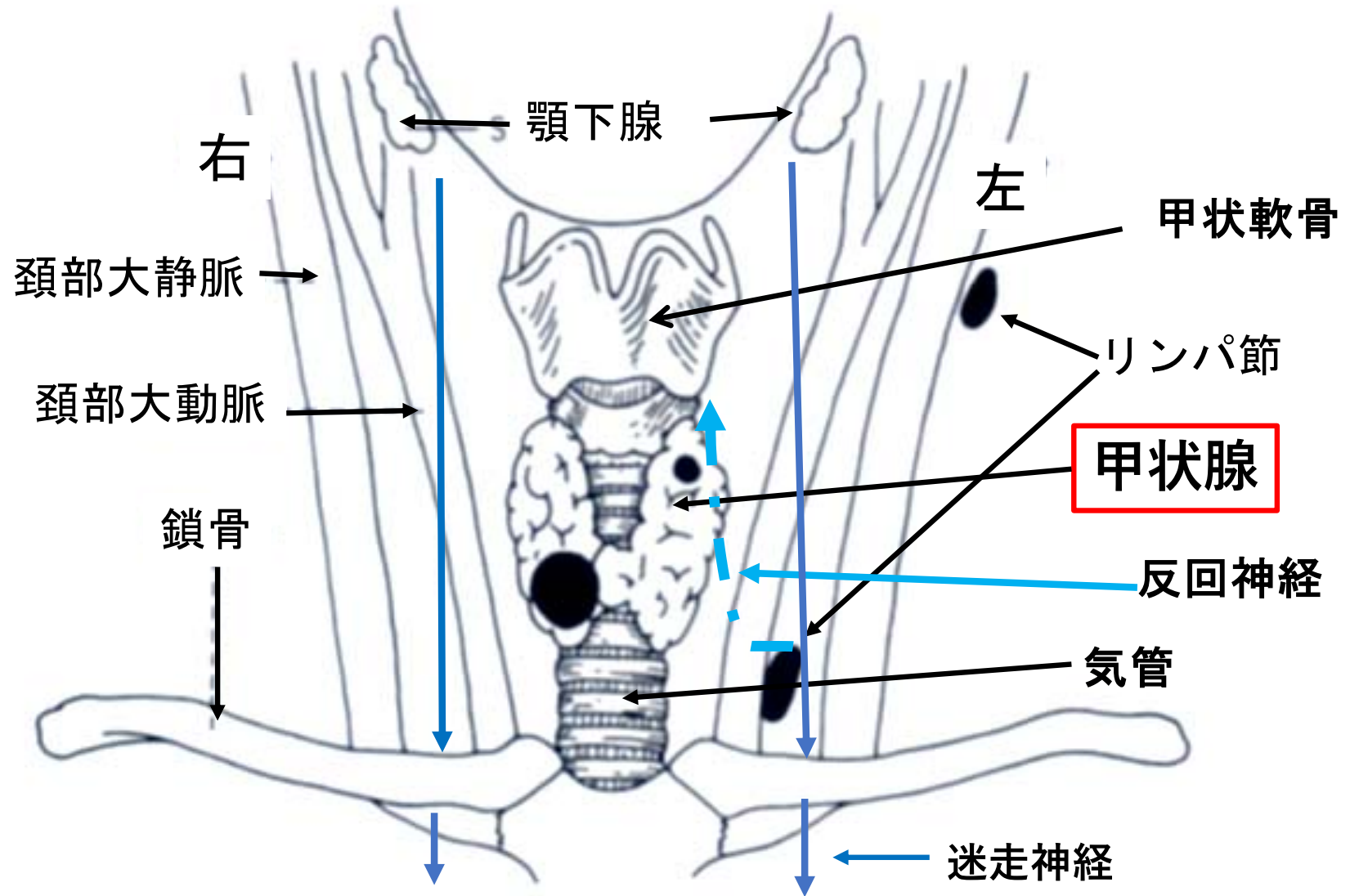
原発事故の健康影響はどうなっているのか？

「県民健康調査」による甲状腺がん 早期発見・早期治療のメリットと 当事者の声

3・11甲状腺がん子ども基金
崎山比早子

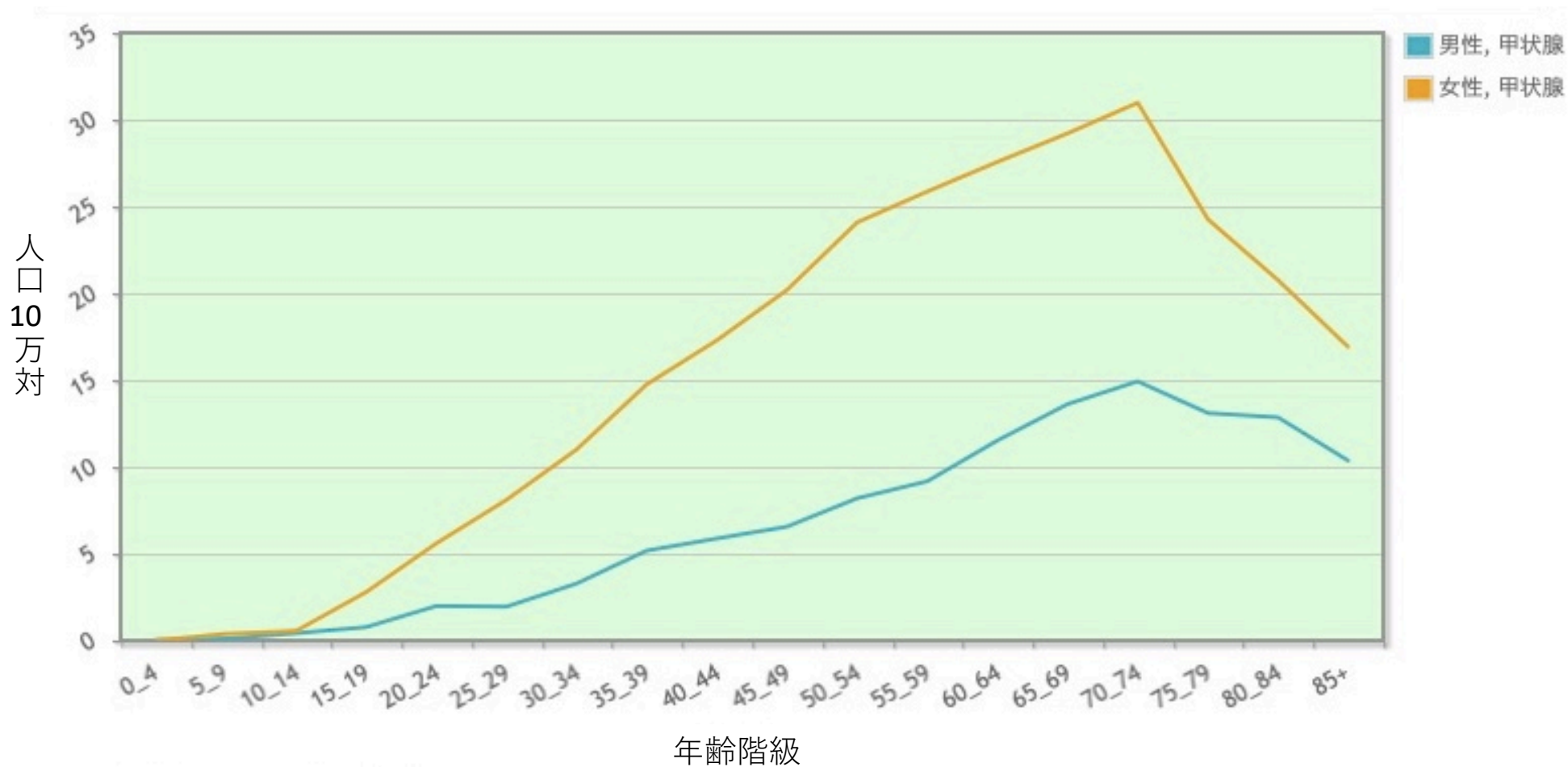
2021年4月19日 オンライン企画

甲状腺と周辺臓器



『Williams Textbook of
Endocrinology』に加筆

年齢階級別罹患率（全国統計）2015年



資料：国立がん研究センターがん対策情報センター「がん登録・統計」
Source: Cancer Information Services, National Cancer Center, Japan

福島県民健康調査甲状腺検査結果

第40回検討委員会（2021年1月15日）発表まで

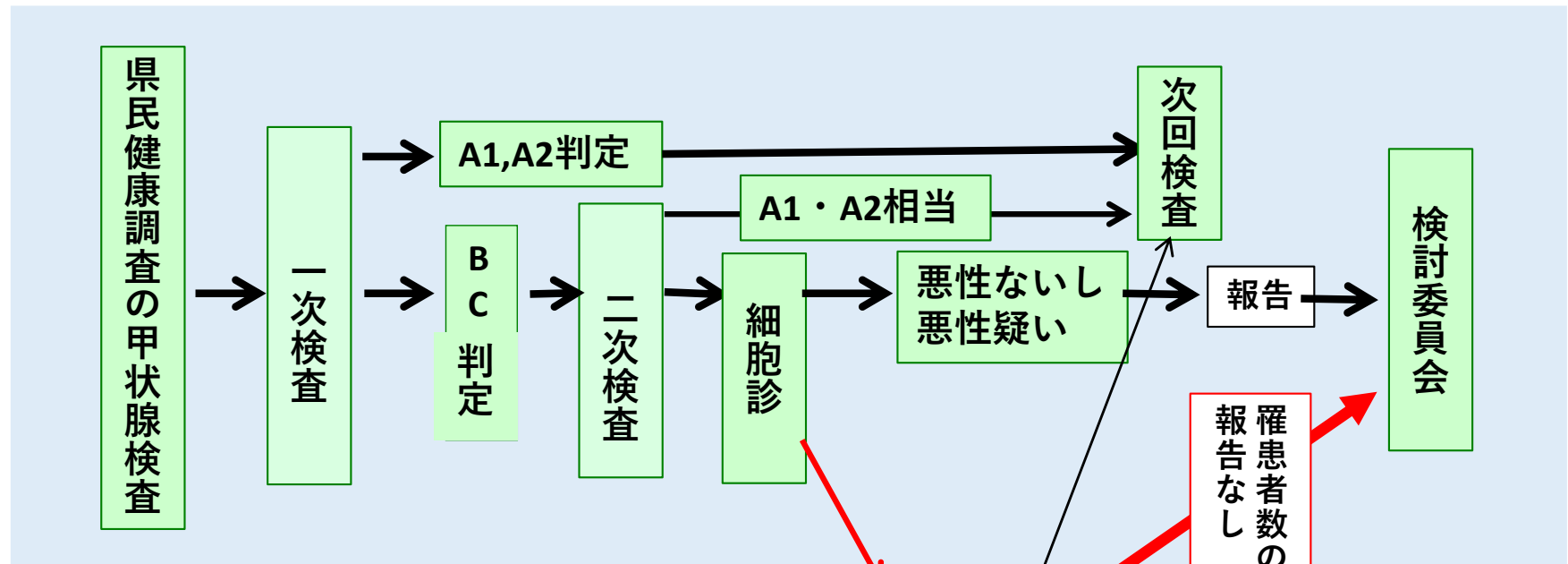
	一巡目検査 (2011～2013年度)	二巡目検査 (2014～2015年度)	三巡目検査 (2016～2017年度)	四巡目検査 (2018～2019年度)	節目検査 (2017年～)	計
悪性ないし 悪性疑い	116	71 一巡目検査結果 A1:33、A2:32、B:5 未受診:1	31 二巡目検査結果 A1:7、A2:14、 B:7 未受診:3	27 三巡目検査結果 A1:5、A2:21、 B:5, 未受診:1	7	252
男女比 事故時年齢 (平均)	39:77 6～18 (14.9±2.6)	32:39 5～18 (12.6±3.2)	13:18 5～16 (9.6±2.9)	11:16 0～12 (8.0±3.0)	2:5 16～18 (17±0.8)	
受診 (受診率)	300,472 (81.7%)	270,540 (71.0%)	217,921 (64.7%)	181,715 (61.5%)	5,578 (8.4%)	
手術結果	102 乳頭がん:100 低分化癌:1 良性:1	54 乳頭がん:53 その他のがん:1	27 乳頭がん:27	16 乳頭がん:16	4 乳頭がん:3 濾胞がん:1	203 がん確定:202

甲状腺がんの増殖速度の速さを示す重要な知見

2年間で検出不能から少なくとも5.1mm増大した人は
2巡目33人、3巡目7人、4巡目5人、計：45人

正確な甲状腺がん罹患者数の把握ができないシステム

2017年3月県立医大発表



検討委員会に報告されないケース

- ・ 県民健康調査枠外通常診療に移行する基準は不明（県民健康調査課）
- ・ 健康診断など県民健康調査以外でがんと診断治療されたケース

これまで判明した集計外

県立医大による2018年10月発表は12人（内1人良性）、2019年1月発表は19人

3.11甲状腺がん子ども基金による2021年3月発表は18人

2021年3月第16回評価部会の発表はがん登録のみ24人

（2017年迄に福島県内で診断・治療）⁵

多発は過剰診断によるものか？

過剰診断とは？

将来的に臨床診断されたり死に結び行かないような癌を診断
(福島県民健康調査検討委員会中間取りまとめ)



医学界新聞

過剰診断で悲しむ人をゼロにした...
igaku-shoin.co.jp

Dr. T. Takano

Dr. S. Midorikawa

過剰診断で悲しむ人をゼロにした...



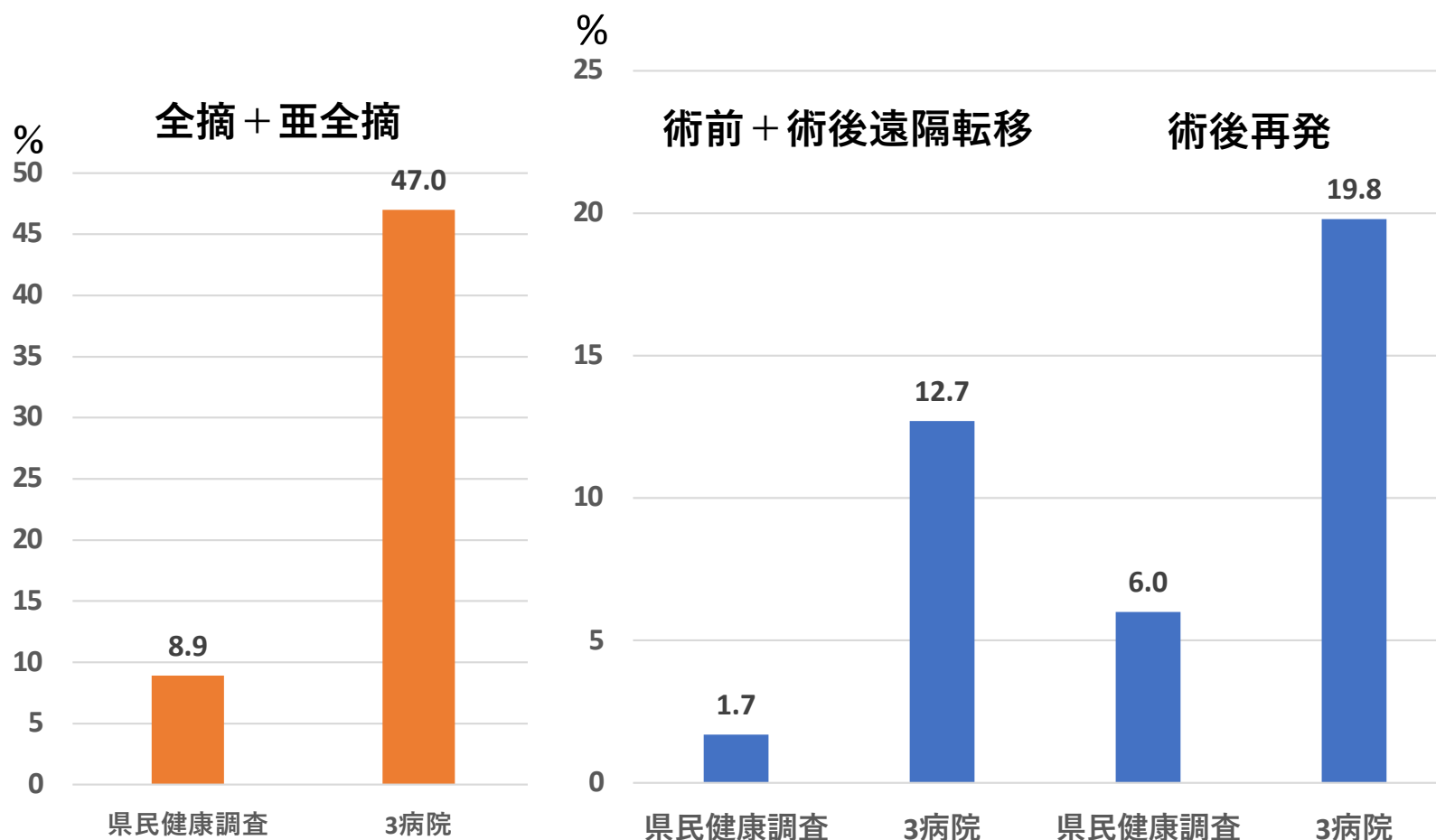
学校検診を中止し考え直す

過剰診断は否定されている

- ・ 県立医大で手術の大部分を行っている鈴木真一氏による手術所見
リンパ節転移（約78%）、甲状腺外浸潤（約45%）で手術は必要。
過剰診断ではない。
- ・ 診断治療は内分泌甲状腺外科学会による診療ガイドラインに
合致する。

一般病院の小児甲状腺がんデータと県民健康調査の比較 検診のメリット

Enomoto et al. World J Surg. 2012 野口病院	142例	
Ito Y. et al. Endocrine J. 2012 隈病院	110例	
Sugino K. et al. World J Surg. 2015 伊東病院	227例	計 479例
Suzuki S. 県民健康調査国際シンポジウム、2020		180例



日本における他の小児甲状腺がんデータと福島を比較

Enomoto et al. World J Surg. 2012 野口病院	142例
Ito Y. et al. Endocrine J. 2012 隈病院	110例
Sugino K. et al. World J Surg. 2015 伊東病院	227例 計 479例
Suzuki S. 県民健康調査国際シンポジウム、2020	180例

	3病院 (観察期間20～40年)	県民健康調査 (観察期間7年)
腫瘍のサイズ	$\geq 40\text{mm}$: 25.5% (隈病院) : 17.6% (伊藤病院) ($\geq 40\text{mm}$: 遠隔転移増加)	$16.3 \pm 9.3\text{mm}$ (5.9 ~ 60.0mm)
術前に遠隔転移	31例 (6.5%)	3例 (1.7%)
術式	全摘出, 亜全摘出 47% 非全摘出 53%	全摘出 8.9% 半葉摘出 91.1%
転移・再発	再発 19.8% 遠隔転移 6.1%	全摘出の場合 6% 全症例の場合 7%
原病死率	1.5%	0
男女比	1:7.4 (野口)、1:8.2 (隈) 1:7.7 (伊藤)	1:1.6

県民健康調査によるメリット

県民健康調査では平均腫瘍サイズが小さく遠隔転移の怖れが減少、実際に再発率少ない
手術の全摘率が少ない → 術後甲状腺ホルモン服用の必要性が減少
放射線被ばくの影響を疑わせる事実：男女比が異なる

原発事故から10年

3・11甲状腺がん子ども基金による当事者 アンケート調査

対象者：3・11甲状腺がん子ども基金の受給者

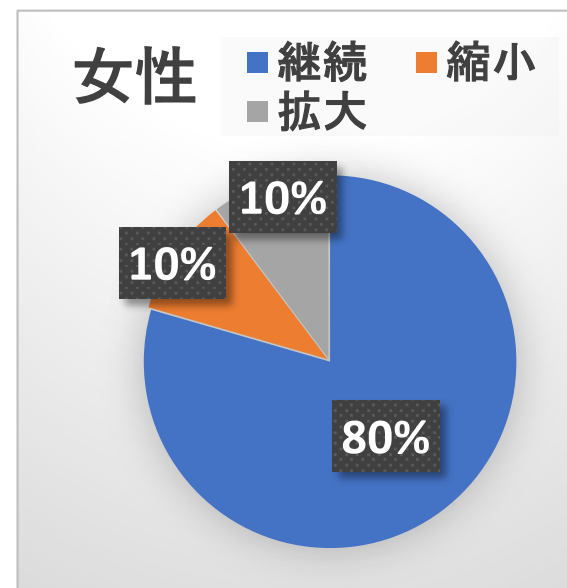
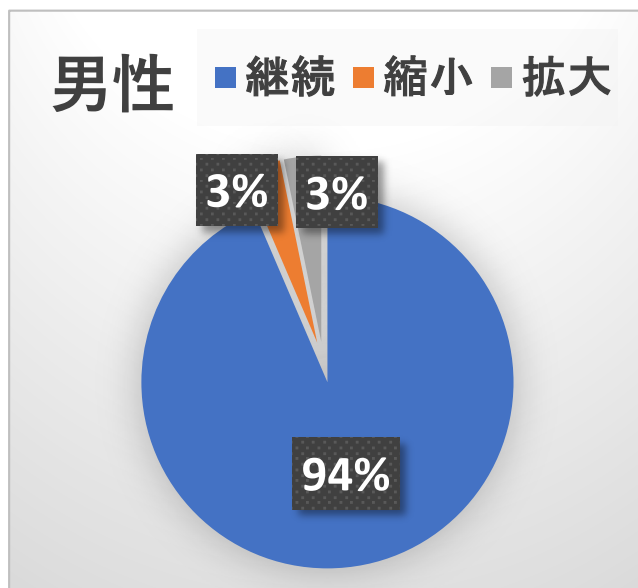
回収率： 福島県 114人中70人(61.4%)

福島県外 62人中35人(56.5%)

調査実施：2021年1月20日～2月28日

NPO法人 3・11甲状腺がん子ども基金

今後の学校での甲状腺検査について



検査の拡大、継続の意見を合わせると90%以上、縮小は7%であった。

継続、拡大の意見

1. 原発事故・放射線の影響を否定できない
2. 早期発見、学校という場での検査の受けやすさ
3. 縮小することのデメリット

縮小意見

「放射線の影響ではない」という評価があり、甲状腺がん自体が他のがんと比べて大きな病気でないから

過剰診断論に対する当事者の意見より(福島県・自由記述)

【過剰診断論に対する反発】

- 死につながるものがなくとも、生活が難しくなる人もいるのだから、死なない＝過剰と言われるのは心外(20代女性・浜)
- 死ななかつたらいいのでしょうか?(20代女性・浜)
- 100%本当に死に結びつかないがんと言えるのか?(20代女性・会)
- 死に結びつかないとかの問題じゃなく、がんには変わりないので、過剰診断というのはおかしい。他人事としか考えていない。(20代女性・中)
- 自分が甲状腺がんになったとして、このようなことを言われたらどう思いますか? 私はこのようなことが言えるのは、甲状腺がんの事を他人事のように思っているから言えるのだと思う。(10代女性・避)
- 過剰診断とは思わない。(10代男性・浜)

【過剰診断論がもたらす不安】

手術を受けると選択したことが間違いだったのかもしれない、という心理的負担を強く感じる。(20代女性・中)

【過剰診断論に対する批判】

- 原発事故後10年ではわからないと思う(20代男性・浜)
- 原発事故を起こしてしまったからには、対象者を検査しなければならないと思う。誰一人として被ばくしていないとは言い切れないから。(20代女性・浜)
- ……現に被曝している人がいる以上、過剰診断が起こっていたとしても診断をしていくべきだと思います。(20代女性・浜)

過剰診断論に対する当事者の意見より(福島県・自由記述)

【検査の意義を認めるもの】

- 死に結びつかないがんであっても、自分の身体の状態を知ることができるため、できる限り検査、診断を行ってほしい(20代女性・中)
- もしがんが見つかったとしても手術するかどうかはある程度自由だと思いますので、過剰だったとしても”無駄”にはならないと思います。(20代男性・中)
- 将来的に悪化するのか、悪化しないまま終わるのかわからない以上、診断が過剰になっても仕方ないと思います。(20代女性・中)
- がんと聞けば重い病気のイメージがある。その予防ではないが、前もって(死に至ったり)防ぐことがそれによってできるのではないか。軽く見るよりは良い。(20代女性・避)

【過剰診断論に対する提案】

- … 再検査をしたりしてミスのない診断をすることが出来れば良いと思う。(20代男性・浜)
- … 過剰診断が心配であれば、セカンドオピニオンすれば良いと思う。(20代女性・中)
- 医師は…発見したら患者に伝えるのは当然だと思う。…患者は素直な気持ちを医師に伝えて、医師は患者に寄り添って治療すればよいと思います。(20代男性・中)
- …一般の人間にもわかりやすく、メリット、デメリットを説明した上で、診断・治療があるのであれば良いと思う。(20代女性・中)



甲状腺検査には大きなメリットがあります。
甲状腺検査は続けましょう

ご清聴ありがとうございました。

